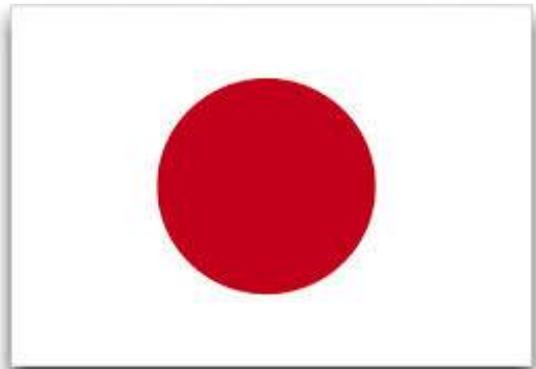


# エクアドル野球チーム新潟遠征プロジェクト

## 活動報告書



エクアドル野球チームを誘致する会

2014年8月20日-2014年9月1日

# 目 次

1	協賛者・協賛企業一覧	1
2	代表挨拶 清野友二	4
3	エクアドルとエクアドルの野球について	5
4	遠征の概要	6
5	日本での活動について	
5-1	現地活動概要	7
5-2	活動内容報告	8
6	実現に向けた取り組み	
6-1	在エクアドル日本大使館による後援	21
6-2	在京エクアドル大使館による後援	21
6-3	企画周知について	22
6-4	プロジェクトを通して寄贈された野球道具について	23
7	収支報告	24
8	御礼 齋藤勇太	25
9	エクアドル野球チームを誘致する会事務局メンバー紹介	26

## 1 協賛者・協賛企業紹介

### 【団体・企業】

在エクアドル日本大使館 様  
在日本エクアドル大使館 様  
エクアドル グアヤス県スポーツ連盟 様  
エクアドル グアヤス県野球委員会 様  
国際情報大学 様  
グリーン産業株式会社 様  
亀田製菓株式会社 様  
株式会社 福田組 様  
学校法人新潟総合学園 様  
第四銀行 様  
新潟冷蔵株式会社 様  
株式会社 BSN アイネット 様  
株式会社 三幸製菓 様  
株式会社 鈴木コーヒー 様  
丸運建設株式会社 様  
株式会社 新潟ビルサービス 様  
金井度量衡株式会社 様  
株式会社 新潟クボタ 様  
麒麟山酒造株式会社 様  
菊水酒造株式会社 様  
株式会社 青芳製作所 様  
株式会社 遠藤製作所 様  
株式会社 コロナ 様  
シマト工業株式会社 様  
山崎金属工業株式会社 様  
北越銀行 様  
久須美酒造 様  
岩塚製菓 様  
越後製菓株式会社 様  
大光銀行 様  
近代事務機株式会社 様  
小林石油株式会社 様  
ブルボン株式会社 様  
株式会社植木組 様  
直江津海陸運送株式会社 様  
新潟いすゞ自動車 様  
株式会社新潟アルビレックス 様  
新潟県協力協会 様  
相場産業株式会社 様  
株式会社パンオイルサービス 様  
野球連盟新発田 様  
ホリカフーズ株式会社 様  
直江津港高速運送株式会社 様  
FUTIAN 様  
株式会社 本間組 様  
第一建設工業株式会社 様  
一正蒲鉾株式会社 様  
株式会社中元組 様  
ユースハウス石黒 様

株式会社塚田牛乳 様  
やきとり泰三 様  
パーティー代行富田隆 様  
株式会社新植 様  
株式会社 US 建築 様  
ALVARO ALVAREZ 様  
EMVASES DEL LITORAL 様  
MEGATAGUA 様  
有限会社 樹樹 様  
胎内電建工業株式会社 様  
株式会社アルファブライト 様  
自転車工房 壱番館 様  
にいがた青年海外協力隊を育てる会 様  
新潟県青年海外協力協会 様  
新潟西リトルシニアリーグ 様  
長岡シニアリーグ 様  
三条リトルシニアリーグ 様  
秋葉阿賀野シニアリーグ 様  
長岡東シニアリーグ 様  
村上シニアリーグ 様  
新潟シニアリーグ 様  
新発田リトルシニアリーグ 様  
大塚製菓 様  
青年海外協力隊パナマ OV 会 様  
医療法人野田歯科 様  
新潟県立新潟江南高等学校野球部同志の皆様  
青年海外協力隊新潟県 OV ご有志の皆様  
エクアドル球児支援 日本野球新潟県硬式野球  
連盟 ご有志の皆様  
青年海外協力隊エクアドルグアヤキル協力隊  
員ご有志の皆様  
新潟県野球連盟 ご有志の皆様  
(以上79団体)

### 【活動協力社・協力団体】

新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ 様  
株式会社ディー・エヌ・エー 様  
株式会社横浜 DeNA ベイスターズ 様  
東京学館新潟高校 様  
新潟商業高校 様  
新潟向陽高校 様  
新潟医療福祉大学 様  
新潟パワーズ 様  
近藤野球塾 SPEED 様  
新潟東シニアリーグ 様  
新潟ドームスラッガーズパーク 様  
円周寺 様  
日本体育大学 様  
瀬谷シニアリーグ 様  
(以上14団体)

## 【個人】

久保 成毅 様(新潟県内中学校教諭)  
武居 亮 様(ささえあいコミュニティー生協新潟)  
森野 謙 様  
勝田あかね 様  
高際 淳 様  
齋藤 香保里 様  
松村 繁満 様  
(JICA ボランティア エクアドル隊員)  
高橋 和希 様  
山田 規央 様  
相川 敏江 様  
神宮 沙友里 様  
珍行 祐貴 様  
隠塚 智洋 様  
金崎 祐哉 様  
廣川 俊男 様  
藤田 純子 様  
星野 幸雄 様  
ウエキ ヤスユキ 様  
長畑 紘介 様  
杉本 裕志 様  
佐久間 雅義 様  
甲斐 義雄 様  
大塚 公洋 様  
サトウ ゲンキ 様  
森田 敏明 様  
(新潟県青年海外協力協会 会長)  
コバヤシ マサル 様  
中村 和美 様(東京学館新潟高等学校教諭)  
小林 房代 様  
野村 俊介 様(エクアドル 日本食料理  
DONBURI 店長)  
塩崎 智一 様  
青木 智史 様  
地野 幸子 様  
松島 謙介 様  
坂井 尚登 様  
古野 間久仁 様  
松田 直子 様  
高橋 むつ美 様  
高木 伽耶子 様  
土田 進也 様  
吉備津 緩子 様  
大淵 拓郎 様  
多田 晴夫 様  
浅見 摩 様  
石山 三郎 様  
松下 純也 様  
大隅 勝男 様  
鈴木 一真 様(JICA エクアドル OV)  
黒田 次郎 様  
岡田 晴彦 様  
村岡 義哲 様(JICA エクアドル OV)

クワバラ キヨシ 様  
溝辺 美智子 様(JICA エクアドル OV)  
堀越 仁志 様  
テラサキ ヨウコ 様  
甲斐 キョウコ 様  
甲斐 クミコ 様  
平田 富士貴 様  
内堀 順二 様  
近藤 民好 様(JICA エクアドル OV)  
鈴木 正彦 様(JICA スリランカ OV)  
山内 順三 様(JICA エクアドル OV)  
八幡 憲之 様  
大関 美香 様  
中村 充・恵子 様  
サカイ ユミ 様  
宮沢 邦子様  
太田 毅永 様(JICA エクアドル OV)  
三浦 誠 様  
(JICA ボランティア エルサルバドル隊員)  
永浦 裕太 様(JICA エクアドル短期野球 OV)  
松本 興太 様(JICA ヨルダン OV)  
井上 崇夫 様(日野自動車)  
岩永 有美子 様  
加藤 秀一 様(JICA ハンガリーOV)  
富安 誠司 様  
後藤 啓太 様  
吉川 静 様  
平澤 周太郎 様  
野村 明香 様(JICA ベネズエラ OV)  
大野 修 様  
山崎 松恵 様  
熱海 貴恵 様  
野口 吉昭 様  
野口 なつ子 様  
(JICA ボランティア エルサルバドル隊員)  
細田 和永 様  
高地 則夫 様  
渡辺 朝子 様  
佐藤 智子 様  
齋藤 フキ 様  
腰越 益江 様  
田村 照子 様  
井口 延子 様  
武田 貞彦 様  
居川 諭 様  
近藤 円 様  
佐藤 道代 様  
真柄 涉 様  
坪谷 幸弘 様  
茗荷谷 文枝 様  
(JICA ボランティア エクアドル隊員)  
北村 義典 様  
田中 章貴 様  
捧 文子 様

星野 泉 様  
嶋田 剛志 様(JICA エクアドル OV)  
小熊 洋一 様  
渡邊 嘉顕 様  
山田 敬太 様  
馬場 雅子 様  
ホソカワ キョウイチ 様  
岡田 直 様  
渡辺 真一 様  
ハセガワ カツヤ 様  
波多腰 克晃 様  
冨田 政行 様(JICA 中国 OV)  
武田 淳子 様  
小池 美香 様  
高橋 秀樹 様(新潟大学 教授)  
登坂 直美 様(株式会社 TOSYS)  
伊藤家 ご家族の皆様  
渡邊 正好 様(JICA エチオピア OV)  
渡邊 裕希子 様  
谷口 英夫 様  
古俣 統雄 様  
齋藤 隼平 様  
桑野 光 様  
山本 輪 様(JICA エクアドル OV)  
牧野 達也・澄子・麻子 様  
小出 様  
若林 秀子 様(JICA エクアドル OV)  
吉岡 祐一 様  
広瀬 久芳 様(長岡東シニアリーグ)  
渋谷 順造 様(長岡シニアリーグ)  
亀岡 偉民 様(衆議院議員)  
井上 順八 様  
米山 直人 様  
山本 泰三 様  
亀田・小熊家の皆様  
上野 仁 様  
瀬野 竜之介 様  
荒木 重雄 様  
モロチヨ 美香 様  
平形 有子 様  
赤萩 福枝 様  
飛松 好枝 様  
西川 潤 様  
金井 貴史 様  
勝部 臣 様  
ヒメナス パウリナ 様  
長久保 由治 様  
井田 圭介 様  
青山 健介 様  
大山 賢一 様  
星 岳成 様  
清野 颯真 様  
堀井 浩 様  
立川 直樹 様

北野 建二 様  
綿貫 薫 様  
岩谷 雄介 様  
皆川 桂輔 様  
後 勝 様  
熱海 様  
野田 先生 様  
米山 直人 様  
佐藤 嘉明 様  
横田 直道 様  
古田 裕 様  
板場 浩 様  
木曾 恵里夏 様  
川口 雅史 様  
Rios Sandra 様  
須佐 宇司 様  
宮寺 直人 様  
齋藤 修 様  
北沢 拓也 様  
新井 瑞史 様  
小林 高広 様  
渡邊 耕二 様  
曾川 博 様  
三浦 拓 様  
橋本 良太 様  
寺崎 健太郎 様  
金崎 裕哉 様  
杉本 裕志 様  
隠塚 智洋 様  
鈴木 祐輔 様  
大竹 伸芳 様  
中村 可愛 様  
松田 浄志 様  
佐藤 嘉明 様  
野田 生 様

匿名希望の皆様

以上190名+匿名希望の皆様

## 2 代表挨拶



拝啓

爽秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より、弊会の活動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、8月20日より13日間にわたり新潟県、神奈川県横浜市を中心に活動を実施しましたエクアドル野球チーム新潟遠征プロジェクトにつき、遠征期間中はご協力いただいた皆様のご厚意とご尽力により無事に全日程を終了することができました。

新潟県内での活動では、地元中学生から高等学校、大学、プロ野球独立リーグの球団まで幅広い年齢層、競技レベルの選手と交流をさせていただき、またホームステイ体験など地元密着での活動により、エクアドルと新潟の交流の一助になったのではないかと存じます。

活動後半は、活動拠点を神奈川県横浜市に移し、大使館及び協力企業訪問、中学生及び大学生との交流、プロ野球観戦など野球以外の活動も含め、貴重な経験をさせていただきました。本遠征に参加をしたエクアドルの子ども達の今後の野球への取り組みはもちろんのこと、異文化の地での経験は必ずや人生にとって有益なものになると確信をしております。遠征期間中は概ね天候にも恵まれ、日程通りに進行し、盛会裏に遠征を終えることができましたことを謹んでご報告申し上げます。

これもひとえに関係された多くの方々のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます次第です。

また、本遠征の開催にあたり、絶大なるご高配を賜りました関係各位に、衷心より御礼申し上げますとともに、今後ともエクアドル野球と弊会に一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

甚だ略儀ではございますが、書中をもちまして遠征のご報告ならびに御礼のご挨拶といたします。

敬具

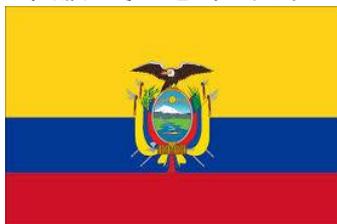
平成26年9月吉日

エクアドル野球チームを誘致する会  
代表 清野友二

### 3 エクアドル共和国とエクアドル野球について

#### 【エクアドル共和国について】

##### ＜国旗とその意味と由来＞



黄は富と太陽と田園、青は空と海、アマゾン川、赤は独立の為に流された血を象徴する。紋章にはアンデスの鳥コンドル、国内の最高峰チンボラソ山、商船、青空と太陽と黄道などが描かれている。  
(<http://www.sarago.co.jp/nfhtm/ec.html> より)

##### ＜地域＞

南米に位置するエクアドルは、その国名の通り、赤道が通り（スペイン語で ecuador は赤道の意味）、キト市の旧市街とともに世界遺産第1号に認定されたガラパゴス諸島が有名な国である。国の中心にはアンデス山脈がそびえ立ち、ガラパゴス諸島に加えて、海側のコスタ、山岳地帯のシエラ、アマゾン地域のオリエンテと一国の中に環境が全く違う4つの地域が存在する。

##### ＜一般事情＞（外務省 HP：<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/ecuador/data.html#section1>）

1. 面積 25.6万平方キロメートル(日本列島の本州と九州を合わせた広さ)
2. 人口 1,542万人(2013年 エクアドル国家統計調査局)
3. 首都 キト
4. 民族 欧州系・先週民混血 79%、欧州系8%、アフリカ系との混血3%(2001年国勢調査)
5. 言語 スペイン語
6. 宗教 カトリック
7. 略史 1822年 大コロンビアとしてスペインより独立  
1830年 大コロンビアより分離独立  
1979年 民政移管

#### 【エクアドル野球について】

エクアドル野球の歴史は長く、約70年前の資料も存在する。今日までエクアドルからメジャーリーガー(MLB)として契約した選手は輩出されていないが、近年少ない野球人口の中からメジャーリーグの下部組織にあたる2A や3A のチームと契約した選手が輩出された。

現在、最も野球が盛んに行われている都市はグアヤキル市。2014年は各年代のカテゴリーごとに最大8チームが登録され、通常5月から12月までの間に大会が開催された(5歳から18歳、成人までの各カテゴリーに分かれて実施)。国際大会にも各カテゴリーで奮闘しており、2013年に開催された南米選手権では成人のカテゴリーで3位という成績を残している。過去にグアヤキル市以外ではマナビ県ポルトビエホにて青年海外協力隊野球隊員が派遣された実績がある。

## 4 遠征の概要

### 【企画名】

- ・エクアドル野球チーム新潟遠征プロジェクト

### 【期間】

- ・2014年8月20日(水)から9月1日(月)

### 【主な活動場所】

- ・新潟県内
- ・神奈川県内

### 【参加者】

- ・エクアドル人選手12名(13歳から15歳)
- ・エクアドル人コーチ1名
- ・エクアドル人引率者2名(グアヤス県野球委員会会長を含む)

### 【目的】

- ・野球を通じた国際交流を行い、エクアドルの野球選手に日本の規律ある態度、道具を大切に  
する姿勢などを学んでもらう機会とする
- ・野球を通じた国際交流を行い、日本の若者にエクアドル人の貪欲さ、明るさ、素直さなどを感じ  
てもらう機会とする
- ・対外試合や練習会、講習等を行いエクアドルと日本双方の選手の野球技術の向上を計る
- ・帰国後に選手による報告会や野球教室を実施することで、参加選手以外とも考え方、意識を  
共有する
- ・将来的にエクアドルの野球界に携わろうとする指導者育成の一助にする
- ・エクアドル人プロ野球選手輩出の可能性の一助とする

### 【活動】

- ・現地中学生との試合・高校生、大学生との合同練習、野球教室開催
- ・ベースボールチャレンジリーグ(BCL)新潟アルビレックスとの交流
- ・プロ野球公式戦の試合観戦
- ・交流団体へのホームステイ、その他団体同士での食事会などの交流
- ・その他公共機関への挨拶

※5. 日本での活動報告にて詳細

## 5 日本での活動について

### 5-1 現地活動概要

日にち	午 前	午 後	夜
8月20日	成田空港着	新潟へ向けて移動	新潟着
21日	体調調整	東京学館新潟高校野球部練習見学 ハードオフエコスタジアム見学	新潟東シニアによる歓迎会
22日	新潟商業高校にて練習 新潟商業高校授業見学・国際教養科交流	アルビレックス新潟練習見学	アルビレックス新潟試合見学
23日	新潟医療福祉大学合同練習	ホームステイ先に移動	ホームステイ先宿泊
24日	各ホームステイ先にて活動	ユースハウス石黒集合 新潟パワーズとの交流戦 近藤野球塾との交流戦(予定)	
25日	新潟東シニア合同練習	新潟東シニア交流試合	ロータクトクラブ食事会
26日	アルビレックス新潟野球教室	シニア合同チームとの交流試合 ※雨天時はバッティングセンター	齋藤家食事会
27日	円周寺(亀田)見学	市内観光	育てる会 歓送迎会
28日	新潟出発	在京エクアドル大使館訪問 株式会社DeNA訪問	日体大宿泊寮到着
29日	日体大施設見学	日体大OP戦見学 日体大合同練習	
30日	瀬谷シニア交流試合	瀬谷シニア交流試合	
31日	横浜市内観光	横浜スタジアム内にて練習見学	横浜×巨人試合観戦
9月1日	日体大宿泊寮出発	成田空港発	

## 5-2 活動内容報告

活動日・時間	2014年8月20日(水) 12:30~20:00
活動内容	成田空港到着・宿舎のある新潟市内へ向けてバス移動
活動場所	成田空港・ユースハウス石黒
主な協力者・団体	【宿舎】ユースハウス石黒 <a href="http://www.ishiguro-shouzi.com/">http://www.ishiguro-shouzi.com/</a> 【バス貸出】リトル北海道 <a href="http://www.sep-i.co.jp/little/">http://www.sep-i.co.jp/little/</a>

### ○グアヤキル空港出発(エクアドル18日)

18:00の集合時間に全員集合。家族との涙の別れ。キト→ヒューストン→成田の合計30時間近くの長旅に備える。



家族との別れ



参加者の半分が飛行機初搭乗



機内の様子



ヒューストンにて



バスの車内の様子 2列目右から2番目が甲斐氏

### ○成田空港到着 12:35

予定通り20日12:35に成田空港に到着する。事前に時差を計算して睡眠を取るよう伝えており、何名かは実施していた様子。日本入国手続きを終了し13:30に全員が入国完了。ゲートに偶然いたテレビ東京の取材をうける。



日本到着 成田空港にて



ここで、2008年から約3年間エクアドルのグアヤキル市で野球指導に従事された甲斐俊行氏(日体体育大学卒)と合流した。甲斐氏は現在関東圏内で養護学校に勤務されている。多忙のところ本遠征のほぼ全日程に同行していただけたことになった。

### ○新潟へ向けて移動 14:00

成田空港から新潟市内まではバスを利用した。経費の都合で有志から協力を募り、新潟県南魚沼市にある居酒屋リトル北海道様よりマイクロバスをお貸しいただいた。運転手も経験豊富な有志の方をお願いすることが出来た。



リトル北海道バス外観



インターでの食事風景

### ○ユースハウス石黒到着 20:00

新潟滞在の拠点となる旅館、ユースハウス石黒に到着。本旅館は新潟県内のスポーツ団体受入に関して経験が豊富であり、本プロジェクトの支援者より紹介していただいた。日本の団体と比べ食事面や習慣で何かと心配が多いことも予想されたエクアドル人受入に非常に理解を示していただいた。



エクアドル野球チームを誘致する会代表清野友二とエクアドル人選手



12人部屋の様子



さっそく枕の中身をぶちまける

出発から35時間の長旅を経て新潟に到着。挨拶と明日の予定を確認してこの日は終了した。

をより多くのエクアドル人に紹介できるよう努めていく。

活動日・時間	2014年8月21日(木) 10:00~21:30
活動内容	体調調整・東京学館新潟高校野球部、新潟向陽高校との交流 HARD OFF ECO スタジアム新潟施設見学・新潟東リトルシニアリーグによる歓迎会
活動場所	イオン新潟南店・東京学館新潟高校グラウンド・HARD OFF ECO スタジアム新潟 学生総合プラザ STEP <a href="http://mydreams.jp/step.html">http://mydreams.jp/step.html</a>
主な協力者・団体	【活動】東京学館新潟高校・新潟向陽高校・新潟東リトルシニア 【取材】新潟日報

### ○体調調整 10:00



午前中は体調調整にあてた。宿舎で体を休めた後、昼食をとる為にイオン新潟南店に向かった。参加者は初めてラーメンを食べた。

### ○東京学館新潟高校 13:30

午後より東京学館新潟高校にて活動交流を行った。初めに会議室にて校長先生はじめ関係者の挨拶があり、その後グラウンドに移動した。初めて日本で野球をする選手は緊張よりも生き生きしていた印象だった。終了時には挨拶を行い、グラウンド整備も初めて体験した。



会議室にて初めの挨拶



日本の選手と共に練習の準備



バッティング練習にも参加



記念品を頂く

### ○HARD OFF ECO スタジアム新潟見学 16:00

プロ野球の公式戦も行われる HARD OFF ECO スタジアム新潟の施設見学を行った。同時刻に新潟向陽高校野球部がグラウンドを使用しており、ご厚意で交流会を行った。終了後には先ほど習ったグラウンド整備を早速実践した。



マウンドを囲んで



グラウンド整備実践

選手たちは日本でも有数の球場でプレーできることに興奮しきりであった。引率者はベンチの構造やグラウンドの設計にも興味を持っており、今後エクアドルでグラウンド改修などの機会があれば参考にできる可能性もある。

またこの日は新潟日报社による取材を受け、翌日朝刊に記事が記載された。

### ○新潟東リトルシニアによる歓迎会 18:30

宿舎から車で2分程のところにある学生総合プラザ STEP にて、交流団体の新潟東リトルシニアによる食事歓迎会が実施された。



鳥屋野潟を一望できる会場にて歓迎会を実施

エクアドル選手は参加者の前で各人の自己紹介を行った。このときばかりは野球をしている時よりも緊張した様子も見られたが、この日までに覚えた日本語を交えて話す選手も何名かいた。言葉は分からずとも同年代の日本の選手とも良くコミュニケーションをとっていた。グアヤス県野球連盟会長と新潟東リーグ理事長も挨拶を交わし、今後の友好を誓った。

### ○活動の振り返りについて

12名の選手を3名ずつ4グループに分けて、グループ事に各日の活動を振り返る活動を行うことにした。実施の為に一人一人に事前に制作したファイルを配布した。夜や朝の空き時間を利用して行った。



宿舎にて活動の振り返りをしている様子

遠征の全行程が終了した後、この資料をもとに保護者や参加できなかった関係者に対して活動報告発表会を実施する予定である。

### ○ユースハウス石黒での朝食



この日は初めて宿舎で朝食を食べた。エクアドル側の嗜好を事前に調べていただいたようで、参加者にも大好評であった。

クアドル人に紹介できるよう努めていく。

活動日・時間	2014年8月22日(金) 9:00~21:00
活動内容	新潟商業高校野球部との交流・学内見学・書道部活動参加・アルビレックス新潟 BC 練習見学・試合観戦・選手交流
活動場所	新潟商業高校・五十公野野球場
主な協力者・団体	【活動】新潟商業高校硬式軟式野球部その他関係者 アルビレックス新潟 BC <a href="http://www.niigata-albirex-bc.jp/">http://www.niigata-albirex-bc.jp/</a>

### ○新潟商業での活動 9:00

到着後校長室にて引率者が受入御礼の挨拶を行った。校長先生より、日本と中南米との関係や移民の歴史等について話があり、エクアドル側からお礼の印として野球委員会の旗が送られた。



校長室にて

### ☆野球部との交流☆

グラウンドに移動して硬式野球部との交流会を行った。アップ、バッティング練習、選手を混ぜての試合形式の実践練習を行った。本日で3チーム目の交流となったが、この日までに多くのエクアドル人選手から「日本のチームは移動が速い」と言う声が聞かれるようになった。各チームの雰囲気エクアドルチームが何とかついていこうと言う気持ちが伝わってきた。



初めの挨拶



足をそろえたランニング



準備を自分から手伝う選手



エクアドル流の挨拶も紹介

### ☆学内見学☆

練習の休憩時には野球部グラウンド隣で活動していた剣道部を見学した。また昼食もとれる待機室を用意していただき、午後は軟式野球部の選手による学校紹介、校内案内、書道部見学が実施された。



昼食の様子



軟式野球部による紹介の様子



チア部との記念撮影



コンピューター室見学

### ☆書道部見学☆

引率者と書道部のご厚意で書道体験をさせていただいた。ユニホームを汚さぬよう、ということは無理であった。作業を進める中で各人コミュニケーションをしようと努力する姿は、エクアドル人はもちろん日本人にとっても非常に貴重な体験であると感じた。最後に行われた生徒によるパフォーマンスは圧巻であった。



書道体験の様子



音楽に合わせた圧巻の発表



引率した尾仲教諭(右端)と軟式野球部との記念撮影

### ○アルビレックス新潟 BC 試合観戦 16:00

新発田市の五十公野野球場に移動し、プロ野球独立リーグの試合を観戦した。



大塚氏とエクアドル選手



スペイン語での交流

試合前には、アメリカでのプレー経験をもち日本のプロ野球にも所属していた新潟アルビレックスの青木智史選手と交流した。また独立リーグ代表の村山哲二氏の計らいで MLB のパドレスとレンジャースでプレーし、第一回 WBC(ワールドベースボールクラシック)で胴上げ投手になった経験を持つ大塚晶文氏(当時信濃グランセローズ監督)、ロドリゲス、バルデス両選手(ドミニカ共和国出身)との交流会も行われた。選手からは「どうすれば日本でプレーできるか」などの質問があり、両選手



アルビレックス新潟 BC のロゴの前で

から「上手くなる為に自分でよく考える、規律的な生活をするのが大切」などといった答えが出された。スタンドではベンを片手にこの日までの振り返りも行った。球場マナーが守れなかったことなど反省点もあり、野球以外にも学びが多い一日であった。案内してくださったのは、アルビレックス新潟 BC 普及部で26日に野球教室を担当して下さる辻氏。

活動日・時間	2014年8月23日(土) 9:00~16:00
活動内容	新潟医療福祉大学野球部との合同活動・ホームステイ体験
活動場所	新潟医療福祉大学野球部グラウンド・各ホームステイ先
主な協力者・団体	【活動】新潟医療福祉大学野球部・ホームステイ受入先6家族

### ○新潟医療福祉大学での活動 9:00

昨年まで新潟明訓高校野球部の指揮をとられていた佐藤和也氏が監督に就任した創部2年目の野球部。部員は1、2年生のみであるが佐藤氏のもとで学びたいと全国から選手が集まった。現在の部員数は60名強。



練習直前自然と気合いが入る



キャッチャー指導を受ける選手



合同での守備練習



最後の整備まで参加

同大学の練習の質は、参加したエクアドル人選手にとって今まで見たことがないほどに高かったようである。全体アップ→守備練習見学→守備練習参加→バッティング練習参加と予定を組んだが、守備練習見学では引率者も含め、全員が見入っていた。佐藤氏の指導方針のもと、練習は選手の能力が最大限に発揮されるようポジティブな雰囲気のもと進められていた。この影響もあり、選手は初めての大学生との合同練習であったが物怖じすることなくのびのび練習することが出来た。ある選手は大学生の動作を真似てからスローイングのコツをつかみ、翌日の中学生との試合では3つの補殺を記録した。



温かく真剣な雰囲気の中で行われる練習は充実していた

### ☆スイカ割り体験☆

練習終了後、佐藤氏の提案でスイカ割り体験を行なった。大学生が良く雰囲気を盛り上げてくれた。



初めてのスイカ割に苦戦



企画を盛り上げる大学生



記念品の贈呈



エクアドル流の別れの挨拶

### ○野球道具提供

同日会場に駆けつけてくれた、元エクアドル野球選手の曾川博氏より、野球道具の提供があった。曾川氏は社会人チームやプロ野球選手のトレーナーを務めた経験を持ち、現在は株式会社ロコ・ケアという会社の取締役として活躍されている。



贈呈式の様子



### ○ファミリーレストランでの昼食 14:00



ファミリーレストランを訪れた。新潟医療福祉大にて気持ちの良い練習をしたことと、昨日の昼食と夕食が市販の日本食弁当だったこともあってか、久々の洋食に食欲も旺盛であった。

### ○ホームステイ先家族へ移動 16:00

支援団体であるにいがた青年海外協力隊を育てる会を通して事前にホームステイ受入先を募集した。青年海外協力隊経験者や、海外在住の経験がある6家族より希望を頂き、2名1組でホームステイ体験を行なった。各家族とも入念に事前準備をしてくださり、翌日の集合時間まで市内観光や家族交流をしていただいたとのこと。



宿舎食堂にて出発前の記念撮影

翌日は13:30に宿所に集合して、中学生との交流試合を行う予定。

活動日・時間	2014年8月24日(日) 13:30~20:00
活動内容	ホームステイ先から集合・市内中学生チームとの交流試合
活動場所	松浜野球場
主な協力者・団体	【活動】新潟パワーズ・SPEED(中学生チーム)

### ○ユースハウス石黒集合 13:30

ホームステイ先から宿舎に集合。出発前にみられた多少不安だった顔とは違い、各人良い表情をしていたことが印象的だった。ユニホームへの着替えを済ませ、試合会場へ移動した。あるホームステイ受入先の家族は試合観戦を希望し、同行していただいた。

### ○市内中学生との交流試合

新潟ポニーリーグの新潟パワーズ、私設チームのSPEEDと試合を行った。時間の都合で新潟パワーズと3イニング、SPEEDと4イニング、計7イニングで1試合とした。



慣れてきた日本式初めの挨拶



試合前、円陣を組む



コーチがベンチでミーティング



慣れないじゃんけん

日本での最初の試合であったが、選手は緊張することなく準備運動と試合に臨むことが出来た。3回までは2-3とやや劣勢であったが、4回から打線にリズムが生まれ終盤には4-4の同点に追いついた。これまでエクアドル国内の試合では守備から崩れて失点するケースが目立ったが、この日は守備からリズムをつくれた。特に捕手の選手は相手チームの盗塁を3つ捕殺した。最終回、2アウト1、3塁の場面で相手チームの1塁走者が盗塁した際には遊撃手が二本間の中間地点に入り捕手の送球をカット、本塁に送球しアウトとする中々見られないプレーも出た。



試合が終われば自然と仲良くなる選手達

### ○野球道具等提供

この日は各方面から野球道具等の提供があった。事務局代表の清野友二と同期で現在は社会人野球かずさマジックマネージャーを務める沖崎健司氏よりユニホーム上下40着、中学野球指導者の平松太郎氏より硬式用金属バット4本、野田歯科医院の野田誠記氏よりハンドバック40個を寄贈していただいた。野田氏は新潟市内にある硬式野球クラブチーム、野田サンダースの代表でもある。



ユニホームを受け取る選手たち



野田氏と野球委員会会長



野田誠記氏とともに



沖崎健司氏とともに 寄贈していただいたユニホーム

### ☆その他の提供物☆

他にも水分補給の為のジャグジーを大塚製薬様から、間食のためのおやつを株式会社ブルボン様よりご提供いただいた。



大塚製薬様よりジャグジー



ブルボン様よりおやつ

これらを初日から活用させていただいたおかげで、蒸し暑い新潟の夏を乗り越えることが出来た。

活動日・時間	2014年8月25日(月)
活動内容	新潟東シニアリーグとの交流試合・新潟ロータアクトクラブによる歓迎会
活動場所	新津金屋球場・新潟青陵大学
主な協力者・団体	【活動】新潟東シニアリーグ・新潟ロータアクトクラブ・新潟青陵大学国際ボランティアクラブ

### ○新潟東シニアリーグとの交流試合 9:30

新津金屋球場にて新潟東シニアリーグと交流試合を行った。選手達は歓迎会で交流した以来、2度目の面会となった。



新潟東シニアリーグとの集合写真



2試合目はユニホームを変えて



日本式芝生の上で昼食

体格に勝るエクアドルチームであったが、日本の堅実でミスの少ない野球の前に完敗。1試合目は1-4、2試合目は3-5というスコアであった。全体としてまとまった試合ではあったが、課題の一つとして上げていた序盤の守備については、2試合とも初回に失点し、終盤集中して追いつける時には試合が終わっているというよく見る流れであった。また、日本の正確な連携守備の前に、エラーが多いエクアドル野球の感覚で走塁をした場面では全てアウトになっていた。現地人コーチも実感していた。試合の入りと走塁は引き続きの改善点である。一方でエクアドルチームからは強い打球のヒットや長打も生まれた。普段から「思い切り、気持ちよく遠くに飛ばそう」と練習する彼らの良いところも十分に発揮された。昼食は日本式に芝生の上で。洋風メニューをチョイスした結果、選手達には大好評であった。



友情の握手

### ○新潟ロータアクトクラブによる歓迎会 17:30

新潟関谷浜と新潟青陵大学を会場として、新潟ロータアクトクラブ主催の夕食会が開催された。



食事会の様子



ビンゴ大会の様子

食事の後は、ビンゴ大会や創作活動を行い、参加者との交流を深めた。



創作活動 壁掛けネームプレートの作成



参加者との記念撮影

新潟青陵大学の学生や大学関係者も含め50名程の参加者であった。ネームプレート作成では、表面に各人が日本語で自分の名前を書き、裏面には日本人にメッセージを書いてもらう形で行っていた。

### ☆新潟青陵大学の学生との交流☆

同大学にある国際交流を主な活動とした団体に所属する学生も企画に参加した。食事会の前には会場から歩いてすぐの関谷浜にて、アイスブレイクを行った。初めは互いに口数が少なかったが、イベントを通して良くコミュニケーションをとっていた。学生からも「緊張したけどやってよかった」という感想が聞かれた。エクアドル人だけでなく、日本人にとっても貴重な体験であったことが伺える。言葉は通じなくとも、別れ際には最後まで言葉を交わし合う学生と選手の姿が印象的であった。



新潟青陵大学の学生による交流会の様子

連日のタイトな予定による選手の疲れも心配されたが、帰りのバスの中では歌いあり、踊りあり、笑いありのエクアドル全開であった。

活動日・時間	2014年8月26日(火) 10:00~21:00
活動内容	アルビレックス新潟BCによる野球教室・バッティングセンターにて練習
活動場所	みどりの森運動公園室内練習場・新潟ドームスラッガーズパーク
主な協力者・団体	【活動】アルビレックス新潟BC・新潟ドームスラッガーズパーク <a href="http://www.niigatadome.com/">http://www.niigatadome.com/</a>

### ○アルビレックス新潟 BC による野球教室 10:00

雨天のため宿舎に1時間程待機し、従来予定していた新津金屋球場からみどりと森の運動公園室内運動場へ会場を変更してアルビレックス新潟 BC による野球教室を実施した。



開始前に集合写真 先日もお世話になった講師の辻氏

主な内容として、正確な投げ方を学ぶ為に投げ方に関する5種の基本的な動作を確認した。選手は、先日の試合で見たユニホームを着た講師が目前にいることで初めは少し緊張気味な様子も見られたが、試行錯誤して取り組む姿勢は真剣そのものであった。講座を通して明らかに球速が上がる選手も見られた。今後継続していく。限られたスペースでの練習により、打撃練習は不可であった。最後に守備練習を行い終了した。終了後には記念ボールを頂き、選手はとても満足そうな顔で講師に別れを告げた。



キャッチボールの基本



終了後に記念撮影

### ☆室内フットサル☆

野球が大好きな選手たちもやはりエクアドル人。昼食後には引率者も含めて全員でフットサルをした。サッカーが生活レベルまで浸透している彼らにとってはつかの間のリフレッシュになった。



控え室でこぼさないように食事



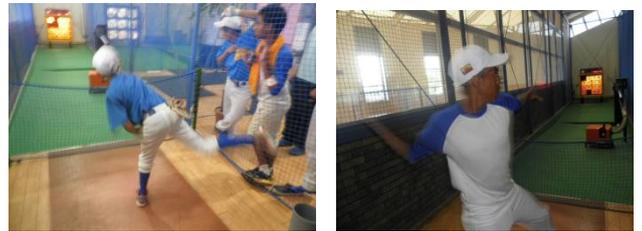
昼食後のサッカー

### ○新潟ドームスラッガーズパーク 14:00

午後の試合も中止となったため、市内のバッティングセンターにて打撃練習を行なった。同施設の代表がアルビレックス新潟 BC に在籍していた経緯で紹介いただいた。



夢中でバットを振る選手達



ストラックアウトの様子

エクアドルにはない環境で練習した選手は終止夢中で汗だくになるまで練習した。その後に行なったストラックアウト(ピッチングのコントロールを競う競技)では、130km/h近いスピードボールを投げる選手もいた。中学生では中々見ないスピードとこのことで施設職員も驚いていた。改めて、選手が能力を発揮するには、楽しく集中して自分から野球に取り組む環境をつくるのが大切であることを再確認できた。



協力してくださった伊藤代表(後列中央)とともに

### ○齋藤家にて夕食 18:00

エクアドルでは招待客を家族に紹介することが通例であり、この日の夕食は日本人引率者家族の齋藤家でとった。座敷で座っての食事に苦戦するエクアドル人が続出した。



畳に座ってとる食事の様子



齋藤家家族との集合写真

### ○野球用品の提供

エクアドル野球チームが来日したことを記念して、株式会社プロスペクト様より ONYONE の記念Tシャツを頂いた。同 T シャツは活動最終日のプロ野球観戦で着用する予定。



胸に両国の国旗が印刷された記念 T シャツ

活動日・時間	2014年8月27日(水) 9:00~21:00
活動内容	円周寺見学・市内観光・にいがた青年海外協力隊を育てる会による歓送迎会
活動場所	円周寺・イオン新潟南店・やきとり泰三
主な協力者・団体	【活動】円周寺・やきとり泰三

### ○円周寺見学 9:00

宿舎からほど近いお寺を見学させていただいた。住職は元高校球児である。遠征実施前に行ったアンケートの中で、日本のお寺を見たいという意見が幾つかあったため実現した。正座体験や写真撮影などして時間を過ごした。



円周寺 青木住職とともに



初の正座体験に苦戦

### ○イオン新潟南店 10:30

選手からの希望があり、イオン新潟南店に再びお世話になった。ゲームセンターへ行ったり、スポーツ店を散策したりと各人時間を過ごした。エクアドル国内では野球道具の生産はなく、全てアメリカからの輸入品、もしくは



大きなぬいぐるみを買った選手

個人持ち込み品が販売されている。スポーツ店では豊富な品揃えを目の前に時間を忘れて店内を回った。また、食品館では日本食のお土産を買う人もいた。夕方前に宿舎に戻り、このあと予定される歓送迎会の前に翌日の出発に備えて荷物を整理した。

### ○宿舎での様子

入浴も慣れてきて、一日の楽しみの一つとなった。入浴中に身につけている最後の一枚は最終日までとれなかった。また、プロジェクト支援者の瀬野伸一氏より各人にグローブ磨き専用オイルの提供があり、選手は毎日グローブを磨いていた。



食堂の様子



グローブを磨く選手



大人数での入浴の様子

### ○新潟最終日 歓送迎会 19:00

新潟での活動最終日と言う事で、にいがた青年海外協力隊を育てる会の主催により歓送迎会が開催された。会場は本プロジェクトの初期段階から協力いただいていた、やきとり泰三さん。この日は、23日にお世話になったホームステイ受入家族を招いての実施となった。店内奥の座敷にて改めて交流を深めた。エクアドル野球チームを誘致する会の清野友二氏、高橋秋人氏、甲斐俊行氏も出席。吉岡大輔氏は後に合流した。



各自お世話になったホームステイ家族と食事を楽しむ



やきとりも大好評



引率者の箸も進む

この日は元新潟県知事で、にいがた青年海外協力隊を育てる会会長の平山征夫氏も出席された。会の途中では選手一人一人からステイ先の家族へ感謝の言葉を述べ、ここまでの日本生活の感想を語った。



日本のやきとり屋でエクアドル人選手が感謝を述べる

これまで新潟での活動を支援して下さったにいがた青年海外協力隊を育てる会のみなさんにエクアドル側よりささやかな贈り物があった。また、全体での歓送迎会が終了した後、事務局メンバーの吉岡大輔氏が関東での勤務を終え合流。翌日には再び関東での引率と強行スケジュールであったが、新潟で協力して下さった方へ挨拶を行なった。翌日は大使館訪問や株式会社 DeNA 訪問のため7:00に宿舎を出発する予定。



一番左が吉岡氏



育てる会のみなさんへ贈り物

活動日・時間	2014年8月28日(木) 7:00~20:00
活動内容	関東に向けて出発・在京エクアドル大使館訪問・株式会社 DeNA 訪問・日本体育大学到着
活動場所	在京エクアドル大使館・株式会社 DeNA
主な協力者・団体	【活動】在京エクアドル大使館・株式会社 DeNA <a href="http://dena.com/company/">http://dena.com/company/</a> 【移動】リトル北海道

### ○ユースハウス石黒出発 7:00

8泊9日でお世話になったユースハウス石黒さんを出発。新潟市内の移動から食事まで、いつもこちらのことを考えてくださり、雨の日など急な変更があったときでも迅速に対応していただいた。感謝。



出発の朝、石黒のスタッフのみなさんとともに

### ○明治神宮球場見学 13:15

5時間弱の移動を経て東京に到着。昼食後に明治神宮球場内を見学した。本遠征の中で日本を代表する野球場の見学は新潟のHARD OFF ECO スタジアム新潟に続き2つ目。



明治神宮球場にて



ベンチにも座る

### ○在京エクアドル大使館訪問 14:10

5月には、にいがた青年海外協力隊を育てる会の総会の中で、在京エクアドル大使館の当時第三書記官(現第二書記官)の David Villagómez(ダビド・ビジャゴメス)氏からエクアドルと日本を題材にした講演をしていただいた。その後、同氏と本プロジェクト日本事務局が調整を続けて今回の訪問が実現した。この日は大使が急用と言う事で急遽 Bolivar Torres(ポリバル・トレス)公使が対応してくださった。



在京エクアドル大使館にて ダビド氏(中央)とトレス公使(右)

先方のご厚意で5月末に配属先の YEYO URAGA に訪問された亀岡偉民氏に連絡していただき、予定が合わずに直接ではなかったが激励を受けた。また、今回エクアドル大使館を通して、MLBJapanより野球道具の提供を受けることができた。今後、日本で集まった野球道具の郵送に関しても協力していただける予定である。



寄贈されたボールを手に

### ○株式会社 DeNA 訪問 16:00

今回、日本遠征を行なった選手が所属するグアヤス県野球委員会は、2014年5月に株式会社 DeNA より野球道具の提供を受けた。今回の訪問で、道具収集を担当してくださった桑原氏に直接お礼の挨拶を行なった。桑原氏は、過去に横浜 DeNA ベイスターズに所属していた元プロ野球選手である。また、インターネット事業を主に行なっている社内の様子を見学させていただき、実際に販売しているサービスを体験させていただいた。



オフィスにて事業説明に耳を傾ける選手



実際にサービスを体験



社内見学

### ○日本体育大学到着 19:30

関東での活動の拠点となる日本体育大学の宿泊施設に到着した。外国人を中心に貸し出している施設とのもので、日本式の大いなる屋敷であった。夕食は同大学の学食でとり、翌日の活動に備えた。



無事到着 長時間協力してくださった運転手とともに

活動日・時間	2014年8月29日(金) 9:00~19:00
活動内容	日本体育大学健志台キャンパス内見学・陸上部、体操部見学・硬式野球部との合同活動
活動場所	日本体育大学健志台キャンパス
主な協力者・団体	【活動】日本体育大学硬式野球部 <a href="http://nittaibaseball.com/">http://nittaibaseball.com/</a>

### ○日本体育大学施設内見学・部活動見学 9:00

日本国内のスポーツにおいて多くの競技者や指導者を輩出する日本体育大学にて部活動を見学させていただいた。

#### ☆陸上部見学☆



競技選手との対談



陸上部の練習会場

陸上部では、ハードル競技にて高校3年間負けなしの選手と対談できた。選手から「勝ち続けるためにはどうすればよいか」という質問が出された。それに対して「練習の量ではなく、いかに自分に適した練習をするか、周りの人への感謝を原動力に競技に打ち込むことが大切」という回答があった。

#### ☆体操部見学☆



体操部専用体育館



実際に器具を使い体操を体験

初めはキャリスペースからの見学であったが、実際に体育館に降りて見学することができ、また体操体験会を実施した。選手は、空中での時間など普段は感じる事が出来ない感覚を楽しむように走り回っていた。

### ○硬式野球部との合同活動

共に日本体育大学硬式野球部出身で青年海外協力隊エクアドル野球隊員、本プロジェクトの事務局メンバーである吉岡大輔氏と甲斐俊行氏両氏取次により日本体育大学硬式野球部との合同活動が実現した。

#### ☆練習試合見学☆ 13:30

平成国際大学とのOP戦を途中まで観戦し、その後地下練習場に向かい練習兼野球教室に参加した。

#### ☆野球教室開催☆ 15:00

15年ほど前に青年海外協力隊としてエクアドルにて野球指導を行ない、現在株式会社ロコ・ケアにて取締役を務める曾川博氏による野球教室を開催した。曾川氏は社会人野球のトレーナーを務めた経験を持ち、現在は年代を越えて野球以外のスポーツも含めて体のケアや体の正しい使い方を多くの競技者に指導されている。



曾川氏の動作をまねるエクアドル人選手



#### ☆大学生との合同練習☆ 16:30

硬式野球部の選手とともに守備練習を行った。大学生の高い技術レベルに刺激を受けていたようだ。大学生との交流は2度目であり、慣れた様子でコミュニケーションする選手やノックを一番に受けたいと大学生に主張する選手も見られた。



日体大との選手の交流



ミニゲームを前に強気なエクアドル人



合同練習の様子



エクアドル式挨拶

練習の後半は、日体大の学生とエクアドルチームを混合してのミニゲームを行った。昨年末に行われたJICA主催の野球指導者研修会で紹介された初球ストライク必打などのルールも加えて積極的なリズムある練習を目指した。また、日体大の学生から「選手にノックを打たせてほしい」、「卒業後は海外で野球を教えてみたい」、「何か手伝えることがあれば何でも言ってほしい」などの言葉をいただいた。中には実際に来年青年海外協力隊として派遣が決定している学生もいた。エクアドル人にとって貴重な一日であったことは間違いないが、この日の出逢いが日体大の学生にとっても良い機会であったのであれば嬉しい限りである。



日本体育大学のタオルを掲げて

活動日・時間	2014年8月30日(土) 10:30~19:30
活動内容	瀬谷シニアリーグとの交流試合
活動場所	瀬谷米軍グラウンド
主な協力者・団体	【活動】瀬谷シニアリーグ <a href="http://seyaleague.wix.com/seya-league">http://seyaleague.wix.com/seya-league</a> 【取材】神奈川新聞

### ○瀬谷シニアリーグとの活動 10:30

天候の影響で当初より開始時間が遅らせての始動となった。瀬谷シニアは全国優勝の経験もある伝統あるチームである。



行き帰りとも送迎していただいた 到着前から出迎えていただいた



### ★日本の遊びを体験★

選手と父母会の計らいで試合前にけん玉、竹馬、こま、大縄跳びなど日本の遊びを体験する企画が行なわれた。昼食会も盛大に行われ、今遠征2度目のスイカ割り大会も開催された。他の野球チーム同様、瀬谷シニアリーグもまた野球道具はもちろん、各人のバックや靴がキレイに並べられていた。エクアドルチームにとって試合以外にも日本を肌で感じる事が出来た一日となった。



けん玉に挑戦



整えられた各人の道具



竹馬に挑戦



いつもエクアドルベースなスイカ割り



手巻き寿司に挑戦



交流会を兼ねた昼食会

### ★交流試合★ 14:30

新チーム(中学1年生と2年生のみ)と言う事であったが、対戦相手の瀬谷シニアリーグは非常に経験豊富でまとまったチームであった。エクアドルチームは初回からミスも重なり、終始瀬谷ペース。結果2-21という豪快なスコアで完敗した。



試合開始



ベンチ前の様子



国内最終戦 本遠征では毎試合に全ての選手が出場

最終回到死球とヒットエンドランでエクアドルチームは1点を返した。点差がついても最後まで諦めない姿勢、劣勢でも得点した時に全力で喜ぶ選手の姿を見ると彼らの成長を感じずにはいられなかった。



試合後はエクアドルベース 名前入りのお守りを頂いた



選手・父母・審判団・関係者を交えて

終了後には何名かの選手が神奈川新聞より取材を受け、後日記事として活動が取り上げられた。また、エクアドル人のコーチから「父母会の協力がすごかった。選手はとても素晴らしい環境で野球が出来ている。見習わなければならない点だ」との言葉があった。選手とともに引率者にとっても学びが多い一日であったようだ。

### ★井上順八氏と面会★

エクアドルのマンタにて40年近く活動され、本企画にも多大なるご指導とご協力を頂いた井上順八氏がエクアドルチームの激励に来てくださった。井上氏は青年期に野球をされていた。



井上順八氏(中央)とともに

活動日・時間	2014年8月31日(日) 9:30~21:30
活動内容	電車乗車体験・横浜近郊観光・プロ野球試合観戦
活動場所	桜木町駅周辺・横浜スタジアム
主な協力者・団体	【活動】株式会社 DeNA・横浜 DeNA ベイスターズ 【取材】共同通信社

### ○電車乗車体験 9:30

エクアドルでは使用することが少ない電車を使用して移動した。切符をなくす人、自動改札機の使い方に時間がかかった人など絵にかけたような移動であった。



自動改札機を体験



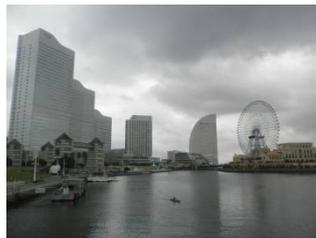
楽しみにしていた電車

### ○桜木町駅周辺 10:30

青葉台駅から1時間程かけて桜木町に到着。散策した。途中、ポリビア人と遭遇して、スペイン語でのコミュニケーションをとった。道中、集団からはぐれてしまう選手や集合時間に集まらない引率者などが出た。このあと更に多くの人が集まる横浜スタジアムに向かう都合、ここで改めて約束事項の確認を行った。



ポリビア人の方とともに



雨の予報も何とか耐えた

### ○横浜スタジアム到着 13:30

遠征記念 T シャツをご提供いただいた株式会社 ONYONE の青山氏と面会。8月最後の日曜日ということもあり、会場では和太鼓の披露や出店が立ち並ぶなど様々なイベントが行われ、多くのファンで賑わっていた。



株式会社 ONYONE の青山氏(中央)とともに



球場前には多くのファンが集まった



イベント会場にて

### ★球場内にて練習見学★ 14:00

株式会社 DeNA の担当者同行のもと、球場内で試合前の練習を見学させていただいた。独立リーグの時に続き、本遠征で2度目の球場内見学。



プロ野球選手を前にエクアドル人選手は終始興奮

練習の途中、横浜 DeNA ベイスターズに所属する中南米出身のブランコ選手、グリエル選手、バルディリス選手、モスコソ選手の4選手が写真撮影や談笑、サインなどでエクアドル野球チームと交流してくれた。



日本プロ野球に所属する中南米出身の4選手とともに

このとき新聞社から日本野球の印象を聞かれたある選手は「日本の野球は行動が速い、準備をしっかりする、規律的だ」と答え「いつか日本でプレーしたい」と話していた。

### ★試合観戦★ 17:00

内野席から臨場感溢れる雰囲気の中で試合を観戦した。



ジェット風船も体験



エクアドル野球チームが紹介される



盛り上がる選手たち

試合は、エクアドルチームが応援していた横浜 DeNA ベイスターズが逆転勝利をおさめた。20:00の試合終了と同時に球場を出て、この日新潟から駆けつけた関係者に最後の別れを告げた後バスに乗り込み宿舎に戻った。

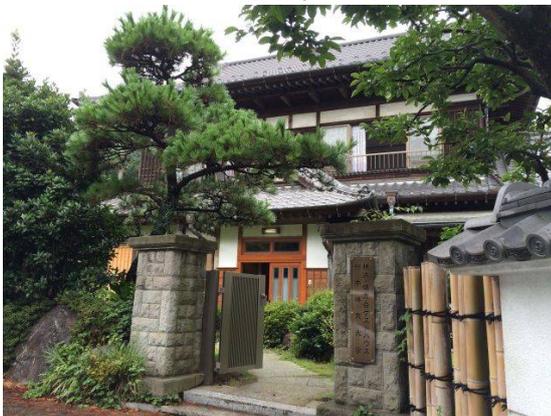
活動日・時間	2014年9月1日(月) 9:30~15:30
活動内容	成田空港からエクアドルに向けて出発・エクアドル到着
活動場所	成田空港
主な協力者・団体	

### ○日本体育大学出発 9:30

日本最後の朝食をとり、各部屋を掃除。ゴミをまとめる。4泊5日でお世話になった日本体育大学の宿泊施設を後にした。



朝食風景



関東滞在期間の宿泊施設であった日本風の古民家

### ○成田空港到着 12:00

各人昨日から荷物をまとめていたおかげで、最終日としてはじめて予定していた時間に通りに出発できた。道中休憩も取れた。空港に到着後、荷物の重量オーバー分を調整した。エクアドルから日本に向けて出発する前に予想していた通り、予定より大分荷物が多くなった様子であった。



各人必死に調整



バットはスーツケースと一緒に

1名出国手続きに時間がかかり、日本を名残惜しむ為十分にあったはずの時間が全くなかった。また、集合場所に全員が集まらず、日本出国前の集合写真は全員でとれなかった。最後は館内アナウンスでエクアドル野球チームが呼ばれ、空港職員が迎えに来るというおまけ付きであった。締め切り3分前に全員が搭乗完了。



ありがとう日本 いざエクアドルへ

### ○日本出発 15:30



全員が無事に日本を出国。飛行機内では皆熟睡していた。

### ○エクアドル到着 (エクアドル9月2日)



日本を出発してから25時間後、エクアドルのグアヤキル空港に参加者全員が無事に到着した。エクアドルでは2日深夜2:30という時間帯での到着であったが、参加者の家族らが選手を出迎え、約2週間ぶりの涙の再会となった。

### ○これからの予定

全員が空港を出ることを見届けて、一先ず今回のエクアドル野球チーム新潟遠征プロジェクトの全てのプログラムは終了した。今後、参加選手と引率者は報告書を取りまとめ、参加できなかった選手や連盟にこの体験を報告・情報共有し、本企画をより多くのエクアドル人に紹介できるよう努めていく。

# 完

## 6 実現に向けた取り組み

### 6-1 在エクアドル日本大使館による後援

在エクアドル日本大使館より、本企画の立ち上げ段階から助言とご指導を頂いた。また、2014年8月に在エクアドル日本大使館を通して実施された外務省の草の根文化無償資金協力の供与式が行われ、その際に遠征メンバーと小瀧徹日本大使、シモン在グアヤキル日本国名誉総領事両氏との面会の場がもたれた。また、遠征に向けて選手のユニホームをグアヤス県スポーツ連盟より提供していただいた。



小瀧徹日本大使、シモン在グアヤキル日本国名誉総領事と日本遠征メンバーとの面会



小瀧徹日本大使(左)、ピエリーナ・コレアグアヤス県スポーツ連盟会長(中央)、シモン在グアヤキル日本国名誉総領事(右)とグラウンドを使う子どもたち

外務省:草の根文化無償資金協力

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/culture/musho/kyoryoku\\_1b.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/culture/musho/kyoryoku_1b.html)

### 6-2 在日本エクアドル大使館による後援

2014年5月31日に、在日本エクアドル大使館よりダビド・ビジャゴメス書記官により「エクアドル共和国と日本」と題して講演会を実施していただいた。(会場:新潟市 にいがた青年海外協力隊を育てる会 総会にて)また、遠征中の8月28日には遠征メンバーが在日本エクアドル大使館を訪問し、後援のお礼とボリバル・トレス公使との面談をさせていただいた。(5-2活動内容にて詳細)



講師のダビド書記官と通訳の吉岡



在日本エクアドル大使館訪問の様子

### 6-3 企画周知について

2014年1月 エクアドル野球チーム新潟遠征プロジェクト公式 HP 完成  
<http://ecuador-yakyu.digi2.jp/>

エクアドル野球チーム新潟遠征プロジェクト公式 Facebook 公開  
<https://www.facebook.com/ecuador.yakyu>

2014年3月 エクアドル野球チーム新潟遠征プロジェクト周知ポスター完成

2014年4月 エクアドル野球チーム新潟遠征プロジェクト記念 T シャツ販売開始  
 制作: STUDIO BRICK LANE  
<http://studiobricklane.jimdo.com/>

2014年6月 南米野球の未来の為に！エクアドルの少年野球チームを新潟へクラウドファンディング Makuake (マクアケ) 実施  
<https://www.makuake.com/project/ecuador-yakyu/>

#### 【企画周知のポスター 日本語・スペイン語を制作】



#### 【記念 T シャツのデザイン サイズ S/M/L/XL/XXL】



#### 6-4 プロジェクトを通して寄贈された野球道具について

寄贈品	数量	寄贈者
軟式野球ボール	720球(60ダース)	公益財団法人 全日本軟式野球連盟 様
グローブ	13個	霜鳥 昇 様
硬式野球ボール	120球(10ダース)	日本生命野球部 OB 長畑 敏介 様
野球用ユニホーム	20セット	日本生命野球部 OB 長畑 敏介 様
金属バット	4本	中学生野球指導者 平松太郎 様
野球用ユニホーム	40セット	かずさマジック野球部 沖崎健司 様
ヘルメット	14個	株式会社ロコ・ケア 曾川 博 様
スパイク	14足	
バッティンググローブ	25組	
キャッチャーレガース	1個	
アンダーシャツ	37枚	
野球用ユニホームズボン	15枚	
野球用帽子	20	MLB Japan 様
グローブ	16個	
ヘルメット	4個	
キャッチャー道具	1組	
Tシャツ	20枚	
バット	2本	
軟式ボール	24球(2ダース)	

※2014年9月現在

#### 【郵送方法と使用方法】

2014年12月までに日本からエクアドルに郵送する予定。方法はエクアドル野球チームを新潟へ誘致する会と在日本エクアドル大使館とで調整中。野球道具到着後は、今回日本へ来日したグアヤス県スポーツ連盟野球委員会のみではなく、他県などへの譲渡を検討し、その際に野球教室などを開催する予定。

## 8 御礼

こんにちは。2013年1月から南米エクアドルにて野球指導をさせていただいております齋藤勇太です。改めまして、この度は「エクアドル野球チーム新潟遠征プロジェクト」の実現のために御協力いただき、誠にありがとうございました。御陰様で参加者全員が日本での活動を終え、無事にエクアドルに戻って参りました。

「エクアドルの少年野球チームを日本に連れて行きたい」。今から約1年前の2013年8月、日本から約15,000km離れたエクアドルのホームステイ先から誘致する会代表の清野友二に送ったメールです。時間を守らず、道具を大切にしない。当時は、そんなエクアドルの選手達に日本の野球を紹介したいという気持ちが強かったように思います。一方で彼らと生活する中で、彼らが純粋に野球を楽しみ、喜怒哀楽し、そして野球が上達していく姿を目の当たりにしました。「とにかく楽しく野球をやる」。時間が過ぎるとともにそんなエクアドルの野球選手の姿を日本の方に紹介したいという気持ちの方が強くなっていきました。

企画実施に向けては、解決しなければならない問題もいくつかありました。しかし清野をはじめ事務局メンバーの心強い仲間達、応援してくださった方々、そして御協賛いただいた皆様の御陰様で2014年8月20日にエクアドル野球チームは日本の地を踏むことが出来ました。日本では約2週間の中に中学生から大学生までの9つのチーム、延べ300名以上の野球選手との交流が実現し、ホームステイ体験もさせていただきました。また、プロ野球独立リーグのアルビレックス新潟BCやプロ野球機構所属の横浜DeNAベイスターズの選手の方々とも交流できました。野球のチーム数が少なく、プロ野球がないエクアドルで生活する選手達にとって、多くの野球選手と交流することや、プロ選手と直接話をするというのは一つの夢であったと思います。また、13歳から15歳という多感な時期に、日本と言うエクアドルとは文化や習慣が全く異なる国で野球という共通のスポーツを通して国際交流が出来たことは、彼らの人生において一生の宝ものになったと信じております。これらの夢を実現させてくださった皆様には、重ねて御礼申し上げます。

私は2015年の1月に日本へ帰国する予定です。幸いにも、2015年の夏には青年海外協力隊エクアドル野球隊員が私の後任として現在の配属先に赴任する予定です。日本とエクアドルが野球というスポーツを通して互いに成長し、交流が続くのであれば嬉しい限りです。

未来のエクアドル野球とエクアドルで野球をする全ての選手に幸あれ。

この度は本当にありがとうございました。

平成26年9月吉日  
青年海外協力隊エクアドル野球隊員  
齋藤勇太

## 9. エクアドル野球チームを誘致する会メンバー紹介



- 名前:清野友二 (せいの ゆうじ)
- 生年月日:1985年8月19日生
- 球暦・経歴:山梨学院大付属高校-松本大学-新潟アルビレックス新潟  
第一建設工業

- 本プロジェクトの主な担当  
エクアドル野球チームを誘致する会代表・新潟活動調整



- 名前:吉岡大輔 (よしおか だいすけ)
- 生年月日:1975年11月11日生
- 球暦・経歴:坂戸西高校-日本体育大学-青年海外協力隊エクアドル野球隊員  
-教員-全日本軟式野球連盟

- 本プロジェクトの主な担当  
クラウドファンディング・関東活動調整・通訳



- 名前:甲斐俊行 (かい としゆき)
- 生年月日:1982年6月29日生
- 球暦・経歴:日本体育大学-青年海外協力隊エクアドル野球隊員-教員

- 本プロジェクトの主な担当  
関東活動調整・通訳・エクアドル野球チーム引率



- 名前:高橋秋人 (たかはし あきひと)
- 生年月日:1983年10月3日生
- 球暦・経歴:新潟工業高校-玉川大学-青年海外協力隊エクアドル CP 隊員  
-胎内電建工業株式会社

- 本プロジェクトの主な担当  
HP 制作・記念 T シャツ企画・新潟活動調整



- 名前:尾仲峻頌 (おなか たかのぶ)
- 生年月日:1984年11月8日生
- 球暦・経歴:羽茂高校-城西大学-教員

- 本プロジェクトの主な担当  
にいがた青年海外協力隊を育てる会との調整・新潟活動調整